

『おばけのケーキ屋さん』(マイクロマガジン社)

絵・文 SAKAE

今回ご紹介するのは、『おばけのケーキ屋さん』です。主人公はおばけと1人の女の子。

このおばけは、自分が作ったケーキを食べさせてびっくりさせるのが大好き。いつものように自慢のケーキを作ってお店をひらくと、女の子がやってきました。自分の作るケーキを食べたら、そのおいしさにひっくり返るだろうと思っていました。女の子は驚くことなく「パパのつくるケーキと同じくらいおいしい」と言っています。自分のケーキのほうがおいしいと言わせるために、女の子には定期的にケーキを食べに来てもらうことになりました。

女の子がお店に来るたび、おばけはとっておきのケーキを作ってお食べてもらいました。女の子はおいしいそうに食べてくれるのですが、答えはいつも「パパのつくるケーキと同じくらいおいしい」。

それでもあきらめないおばけ。気づけば初めて会った日から長い月日が経っていました。そんなある日、女の子はいつもと違う様子でお店に

やってきました。そして、明日の朝、結婚式をしてから遠い町へ引越すため、お店へ来るのは今日で最後だと告げられます。女の子がお店をあとにしたのち、おばけは急いで作業にとりかかりました。女の子へ最後の贈り物をするために…。

最後の贈り物とは何なのか、明日の朝に間に合うのか、「パパのつくるケーキと同じくらいおいしい」という言葉に隠された女の子の思いとは。気になった方は、驚きと感動の展開をお見逃しなく！

★おすすめポイント1
文字の大きさや文の色が内容によって変えられています。
主人公の声の大きさを心情が伝わってくるようになっています。
絵の邪魔にならないような、むしろ絵を引き立たせるような工夫が感じられます。★

★おすすめポイント2
絵での表現が非常に細かく描かれています。女の子がお店に来た最初と最後のシーンでは、対比のよう描くことで成長がわかりやすくなっていますよ。
おばけの蝶ネクタイと女の子の髪飾りにもご注目★

にじいろ
ほんたな



～ご飯に合うカンタン具材を発見しよう～

「この家庭にもありそうなもの」を使って、「できるだけ手間のかからないこと」を条件として、広報部員でご飯に合う新たな具材を探してみました☆

【試した調味料や食材】

揚げ玉、うまい棒、お茶漬の素、かつお節、カルパス、きざみねぎ、きざみのり、キムチ、牛乳、黒胡椒、粉チーズ、ごま油、鮭フレーク、塩、しょうが、醤油、白ゴマ、タバスコ、豆腐、とろけるチーズ、どんどん焼、納豆、なめたけ、粉末だし、ベイスターラーメン、マヨネーズ、焼き肉のタレ、よっちゃんいか、わさび

「ご飯がどんどん進むおいしさ」なめたけがどんどんなくなっていました(笑)

【ランキングならぬ…こんなものやりました】

- 揚げ玉+きざみねぎ+きざみのり+醤油
- 揚げ玉+きざみねぎ+ごま油
- かつお節+キムチ+醤油+豆腐(+きざみねぎ)
- カルパス+マヨネーズ
- きざみのり+粉チーズ+焼き肉のタレ+わさび
- 牛乳+納豆(+粉末だし)
- 黒胡椒+粉チーズ(+タバスコ)
- 粉チーズ+焼き肉のタレ
- 鮭フレーク+マヨネーズ
- 醤油+豆腐+ベイスターラーメン
- 豆腐+なめたけ

広報部員がやってみた

3位 なめたけ+わさび
2位 お茶漬の素+牛乳+とろけるチーズ
温めることでソット風になり最初は抵抗があった部員も驚きのおいしさ！

「試してみたい」と思ったものはありましたか？買物に行くとき、ご飯のお供でたくさん並んでいますが、こうやって試行錯誤してみるのも楽しいですよ。いろいろ組み合わせていくと、予想外のところでもとても良いカンタン具材が見つかるかもしれませんよ◎ぜひチャレンジしてみてください。